



寒波の到来で、11月19日の朝は鉢伏山や瀬川平は白くなりました。教室にはストーブも設置され、本格的な寒さへの備えが整いました。二学期も残すところ、いよいよ1か月を切りました。全国的にインフルエンザの流行が懸念されています。感染症対策を行いながら、2学期のまとめに向けて取り組んでいきます。



うづか探検

11月5日に「兎塚探検」を行いました。キャッチフレーズは「うづかの良さを知りつくそう!」です。この活動は昨年度から始まり、今年度は福岡地区周辺を巡りました。探検のコースは、6年生が中心となって考えてくれました。午前中に、兎の塚、道の駅ハチ北、八幡神社、八幡山公園などを訪れました。6年生は下級生の世話をしながら、リーダーシップを発揮して探検を進めていました。

今年は東北地方を中心にクマの出没がニュースになっていることもあり、駐在所の細見巡査部長さんに見守りの応援をお願いしました。さらに、八井谷の兎の塚は山の根にあるため、校歌を歌いながら向かいました。午後には、探検を通して発見した「うづかの良さ」を班で発表しました。クイズや劇など、みんなの興味・関心を引く工夫が多く見られました。コミュニケーションワークショップでの学びを活かしながら、決められた時間内で、自分たちの力で発表内容や役割分担を決め、練習を重ねて発表に仕上げました。どの班も主体性がよく表れた素晴らしい発表でした。一生の思い出に残る貴重な経験となりました。



4年社会科・防災学習

11月14日(金)、4年生が社会科の防災学習の一環として、高坂・板仕野の工事現場を見学しました。地すべり防止施設や急傾斜地の崩落対策が行われている現場を見せていただきました。地すべりを防ぐために、集水井を掘って地下水を集め、排水溝から水を流す仕組みについて、実際の現場を見ながら学びました。また、のり面の崩落を防ぐ工事では、モルタルの枠をボーリング施工で固定している様子を間近で見学しました。普段は立ち入ることのできない場所にも案内していただき、何気なく見ていた風景の中にも、地域の安全を守るための工夫があることを知る貴重な機会となりました。



平和への祈り

11月21日（金）、兎塚地区戦没者追悼式が行われました。80年前の12月3日、兎塚女子挺身隊の一行を乗せたバスが川へ転落し、14名の尊い命が失われました。戦争がなければ起こらなかった事故でした。追悼式では、安養寺の西浦ご住職が読経の前に「過去は変えられないけれど、未来は変えていける」と挨拶されました。また、遺族会代表の井上さんは、「絶対に戦争をしてはならないという思いを、地区の皆さんに伝えてほしい」と語られました。6年生は平和学習を通して、戦争の恐ろしさや平和の大切さについて学んでいます。そして、慰霊碑の清掃活動にも取り組んでいます。献花をしながら、未来を担う子どもたちに平和の尊さを伝え続け、今後も平和学習の充実に努めていきたいと感じました。



公開授業・公開保育

11月19日（水）、うづか幼稚園で美方郡内の先生方を対象に公開保育がありました。また、11月12日（水）、兎塚小学校で町内の先生方を対象に、授業公開と芸術文化観光専門職大学の学長・平田オリザ先生の講演会がありました。兎塚小学校では、令和8年10月29日（木）に但馬小学校特別活動教育研究大会を開催し、但馬地区の小学校の先生方を対象に特別活動や学級会の授業を公開する予定です。その日も、平田オリザ先生の講演会を予定しています。

兎塚小学校の特別活動の研究は昨年度から始まり、子ども達の「話し合う力」は着実に育ってきています。学級会や縦割り班活動、コミュニケーションワークショップなどを通して、自分たちで課題を見つけ、話し合いながら解決する力を身につけています。意見や考えが異なるときには、共通点を見つけて折り合いをつける対話の力や、多様な考え方を持つ仲間と協力して物事をつくり上げる力が育まれています。こうした「話し合う力」は、グローバル化が進むこれからの社会で生きる上で大切な力です。今後も、特別活動の研究を重ね、子ども達の「話し合う力」を伸ばしていきます。



除雪出前講座

11月26日（水）、1・3年生が出前講座で除雪について学習しました。講師は新温泉土木事務所と石井建材の職員さんでした。新温泉土木事務所では、毎日天気予報をチェックして、雪が降りそうな場合、機械の点検をして、除雪を業者に依頼していることを教えてもらいました。その後、除雪車を見せてもらい、運転席にも座らせてもらいました。私たちが普段使っている道路は、県土木事務所の方をはじめ、たくさんの方々の支えによって安全に通行できていることを改めて実感することができました。

